

臨床研究 オプトアウト申請

当院に脳梗塞で入院された患者さんへ

「急性期脳梗塞患者における DPC 特定入院期間 II 以内退院に関連する院内診療プロセスの検討」について

1. 対象となる患者さんについて

2024 年 6 月 1 日から 2026 年 5 月 31 日までに東千葉メディカルセンターを退院した患者さんのうち、脳梗塞と診断され、発症から 7 日以内に当センター脳神経内科または脳神経外科に入院された 18 歳以上の患者さんを対象としています。

2. 研究概要および利用目的について

目的：

日本の病院では、「DPC（診断群分類）」という仕組みを用いて、病気の種類や治療内容に応じた入院期間の目安が設定されています。その中でも「特定入院期間 II」は、標準的な入院期間の一つの基準として用いられています。

本研究では、脳梗塞で入院された患者さんについて、この「特定入院期間 II」以内に退院できるかどうかに着目し、入院中の診療の進め方（リハビリ開始の時期、食事開始の時期、退院支援の進め方など）との関係を調べます。本研究により、入院期間に影響する要因を明らかにし、より効率的で質の高い医療の提供につながる新たな知見が得られることが期待されます。

研究期間：

2026 年 8 月 1 日から 2029 年 3 月 31 日まで

この研究は、当院倫理委員会の承認を受け、センター長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究機関および研究責任者、試料・情報管理者について

当院単独研究

<研究機関>：東千葉メディカルセンター

<研究責任者>：東千葉メディカルセンター 脳神経内科 大谷 龍平

4. 使用する情報（情報）

患者さんの診療録から年齢、性別、既往歴、発症前の生活状況（mRS）、入院時重症度（NIHSS スコア）、脳梗塞の病型、治療内容、リハビリテーション開始日、経口摂取開始日、医療ソーシャルワーカー介入日、家族（キーパーソン）面談日、転院先決定日、在院日数、退院時の状態（mRS、退院先）等の情報を収集させていただきます。

5. 試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法

他の機関への試料・情報の提供はありません。

6. 研究終了後の情報の保存および廃棄について

この研究に使用させていただいた患者さんの情報および本研究のために作成した資料等は、研究終了後 5 年間または最終研究発表後 3 年間のいずれか遅い日まで保存します。なお、情報を廃棄する際には、患者さん個人を特定できない状態で適切に廃棄します。

7. 個人情報の保護および研究成果の公表について

患者さんの診療録から収集させていただく情報は、個人を特定できる情報を削除し、匿名化した上で本研究に使用します。また、本研究の成果は学会発表や学術論文として公表される予定ですが、その際にも患者さんの個人情報が第三者に明らかになることはありません。

8. 研究計画書および個人情報の開示について

本研究の研究計画書や研究方法に関する資料は、他の患者さんの個人情報および知的財産権の保護に支障がない範囲で閲覧することが可能です。ご希望の場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。

また、本研究のために収集された患者さんご自身の情報についても、ご希望に応じて開示いたします（ただし、既に廃棄されている場合などは開示できないことがあります）。

9. 研究への情報使用の取り止め（不参加）について

本研究への情報の利用を希望されない場合には、研究対象から除外いたします。原則として研究結果の公表前であれば、情報の削除等の対応を行います。2029年3月31日までに、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。なお、取り止めに希望された場合でも何ら不利益を受けることはありません。

10. 問い合わせ窓口について

この研究の対象となる可能性がある方で、この研究に関するお問い合わせは、以下の担当者にお尋ねください。

【担当者】

東千葉メディカルセンター 総務課総務係

TEL 0475-50-1199 （内線：2149）

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいてHPに掲載しています。

※その他記載したいことがありましたら、こちらに記入してください。

--	--